

平成19年12月15日  
原子力安全対策課  
( 1 9 - 8 7 )  
<22時15分資料配付>

大飯発電所2号機の調整運転停止について  
(湿水分離加熱器空気抜き管からの蒸気漏れ)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所2号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力117.5万kW)は、平成19年9月30日から第21回定期検査中で、本日6時に調整運転を開始し、15時50分に電気出力約30%に達した後、2次系の点検を行っていたところ、17時45分頃、保修課員が湿水分離加熱器\*1の加熱蒸気側水室に接続されている空気抜き管の保温材から僅かに蒸気が出ているのを確認した。

このため、加熱蒸気の供給を停止する措置を行った上で、保温材を取り外して確認したところ、空気抜き管の直管部で蒸気漏れが確認され、当該部はドレントラップ\*2出口配管との合流部付近であった。

蒸気漏れの原因調査を行うため、本日23時頃から出力降下を開始し、翌16日2時頃に発電を停止、3時30分頃に原子炉を停止する。

なお、本事象による周辺環境への影響はない。

\*1: 高圧タービンを出た蒸気を加熱し湿分を除去する機器

\*2: 空気抜き配管内に溜まった水を下流側の復水器に排出する装置

問い合わせ先(担当:伊藤)  
内線2354・直通0776(20)0314

大飯発電所2号機の調整運転停止について  
 (湿分分離加熱器空気抜き管からの蒸気漏れについて)

